

地震・災害が起こった時、

防災情報がいのちを守ります

災害が発生したとき、「情報」は自分と家族を守る命綱になります。

起こる前の準備として、災害用伝言ダイヤルなど、安否確認方法を家族で話し合い、いざという時に慌てず、活用できるよう準備をしておきましょう。

デジタルだけに頼らず、アナログでも情報収集手段を確保するようにしましょう。

潮来市ツイッター、スマホ防災アプリをチェック



災害時には市役所からの緊急情報は公式ツイッターなどで発信します。また地震速報やラジオアプリ、位置情報アプリなど災害の時に役立つアプリをスマートフォンに入れておくとい良いでしょう。

安否情報の登録や確認が出来ます

災害用伝言ダイヤル（171）

伝言を録音する場合

伝言を再生する場合

「171」にダイヤルする

「1」を押す

「2」を押す

被災地の方はご自宅の電話番号を入力、
被災地以外の方は、被災地の方の電話番号を
市外局番から入力

「1」「#」を押す

「1」「#」を押す

「録音する」(30秒)

「再生」が始まる

「9」「#」を押す(終了)

災害用伝言板（WEB171）

伝言を残す場合

伝言を読む場合

トップ画面の「災害用伝言板」を選ぶ

「登録」を選ぶ

「確認」を選ぶ

伝えたい項目を選ぶ
(伝えたいことを書き込む
こともできます)

安否確認したい相手の
携帯電話番号を入力する
(×××) ×××-×××

その画面で「登録」を選ぶ

その画面で「検索」を選ぶ

伝言の登録が完了

伝言の検索結果が表示

スマホ・携帯に依存しすぎないことも大切

災害の際に停電や電波の障害が起こると、スマートフォンや携帯電話が通じなくなってしまうことがあります。スマホや携帯以外での連絡手段についても日頃から確認しておきましょう。

- 連絡先の電話番号は携帯電話に入れるだけでなく、メモに残しておきましょう。
- いざというときの連絡手段については複数決めて家族で話し合っておきましょう。
- 公衆電話の場所を確認、使い方を子どもに教えておきましょう。